

WE ARE GREEN

価値を創造し続ける企業グループへ

BUSINESS REPORT

株主の皆さまへ

第9期 報告書

2022年6月発送

P.10

抽選で109名の方に、3,000円相当のQUOカードPay
が当たる！株主さまアンケートを実施

CONTENTS

トップインタビュー	1
特集1 中期経営計画2025始動	3
特集2 環境経営	5
特集3 DX	7
株主の皆さまへのご案内	9

証券コード：3289



東急不動産ホールディングス

株主の皆さまへ

WE ARE GREEN 誰もが自分らしく輝ける未来へ

代表取締役社長
西川 弘典



第9期を振り返って

不動産業では、オフィスビル市場は、平均空室率の上昇や賃料水準の下落が続く一方、コミュニケーションやウェルビーイングの観点でよりグレードの高いオフィスを求める動きも見られました。良好な資金調達環境のもと、不動産投資市場における投資家の物件取得意欲は引き続き旺盛であり、また分譲住宅市場でも新築物件の販売や中古マンションの売買がいずれも堅調に推移しました。一方、都心部の商業施設やホテル・リゾート関連市場などにおいては、長距離移動や人混みを避ける傾向から、依然として厳しい状況が継続しました。

当社グループでは、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」及びこれに基づく長期経営方針

がスタートし、ありがたい姿として掲げた「価値を創造し続ける企業グループ」及び「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」の実現に取り組みながら、コロナ前の業績へのV字回復をめざして事業を推進してまいりました。また、子会社であった(株)東急ハンズを、同社の今後の成長のために最適なパートナーである(株)カインズ様へ譲渡するなど、事業ポートフォリオマネジメントも着実に進めております。

その結果、売上高は9,890億49百万円(前期比9.0%増)、営業利益は838億17百万円(前期比48.3%増)、経常利益は728億34百万円(前期比56.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は351億33百万円(前期比62.1%増)を計上いたしました。

「中期経営計画2025」と 第10期の見通しについて

本年5月に当社グループは、アフターコロナの再成長に向けた稼ぐ力と効率性の向上に取り組むことを掲げる「中期経営計画2025」を策定、公表いたしました。また、長期経営方針において全社方針と定めて取り組みを進めている「環境経営」と「DX」についてまとめた「環境経営レポート」と「DXレポート」も同時に公表しており、今回の報告書ではそれぞれのポイントを特集記事として取り上げております。今後の当社の事業展開の方向性についてお示ししておりますので、ご一読を賜れば幸いです。

➡ **特集 3～8ページ**をご参照ください。

第10期の業績につきましては、世界的に物価の上昇や金融引き締め動きが見られることなど、先行き不透明な状況下ではございますが、売上高1兆円、営業利益900億円、親会社株主に帰属する当期純利益370億円を計画しております。環境経営とDXを通じた独自性のある価値を創造し、計画達成に向けて取り組んでまいります。

株主の皆さまへ

当社では、当面の株主還元方針を「配当性向30%以上」「安定的な配当の維持継続」と定めております。これに基づき、第9期の期末配当は、前期より1円増配となる1株につき9円(中間配当とあわせ、年間配当17円)とさせていただきます。また、第10期に関しましては、年間配当

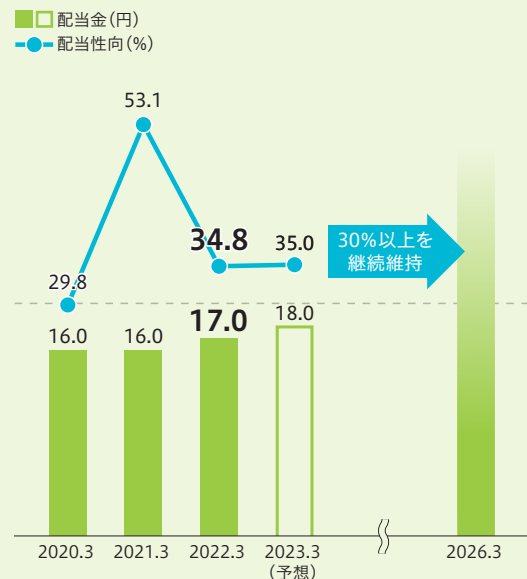
18円の実施を計画し、業績向上に取り組んでまいります。

加えて、特に個人株主の皆さまからご好評をいただいている株主優待制度につきましても、より多くの株主さまに当社事業への理解を深めていただく機会となり、またご満足いただける制度をめざしたいと考えております。今後の取り組みの参考とするため、優待に関する株主さまアンケートを実施いたしますので、ご回答を賜りましたら幸いです。

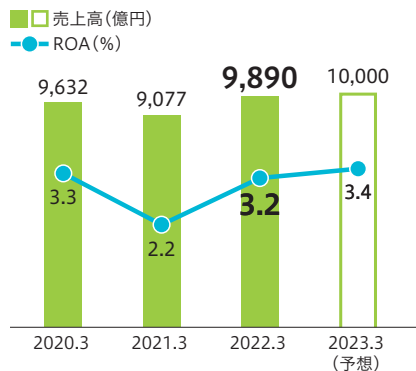
➡ 10ページをご参照ください。

株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

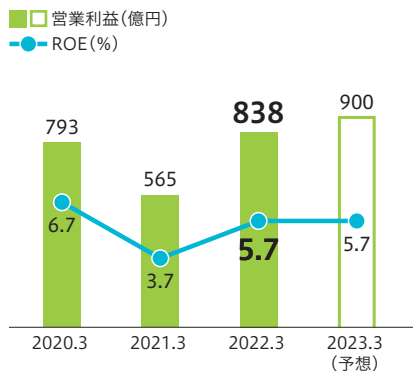
配当金／配当性向



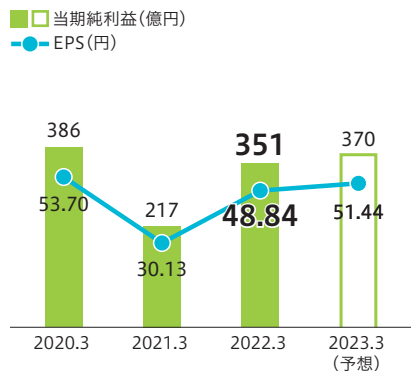
売上高／ROA



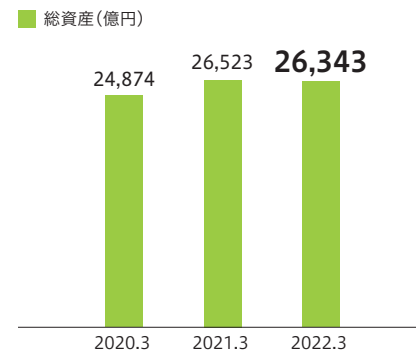
営業利益／ROE



当期純利益※／EPS



総資産



※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を掲載しております。

POINT 1 営業利益

賃貸オフィスにおける大型オフィスビルの通期稼働、活況な不動産売買市況によるアセット売却益の増加、住宅分譲や売買仲介が好調に推移したこと等により、2021年度の営業利益は、ホールディングス体制への移行前も含めて、過去最高益を達成。

POINT 2 総資産

販売用不動産への投資が進捗した一方、固定資産の売却や(株)東急ハンズの連結除外等により、対前期末180億円の減少。

中期経営計画2025始動

当社は、昨年5月に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」及び「長期経営方針」を策定し、「WE ARE GREEN」のスローガンのもと「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来の実現」をめざしております。本年5月に発表した「中期経営計画2025」では、長期経営方針の前半における「再構築フェーズ」と位置付け、長期経営方針で定めた全社方針及び事業方針に従い、アフターコロナの再成長に向けた稼ぐ力と効率性の向上を推進し、強固で独自性ある事業ポートフォリオの構築、ありたい姿の実現をめざします。

詳しくは
こちら



GROUP VISION 2030 価値を創造し続ける企業グループへ

誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来の実現

2021-2025 長期経営方針：再構築フェーズ

2026-2030 長期経営方針：強靱化フェーズ

アフターコロナの再成長に向けた稼ぐ力と効率性の向上

強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築

中期経営計画2025

生産性向上・効率的投資による
利益率改善

顧客体験価値向上による
収益増加・事業機会拡大

ビジネスモデル変革による
事業価値最大化

環境経営とDXを通じた独自性のある価値創造

計画の骨子

グループの強みに「環境経営」と「DX」を組み合わせ、独自性のある価値を創造してまいります。

● 環境特集は5～6ページへ

● DX特集は7～8ページへ

資産活用型ビジネス

都市開発事業／戦略投資事業

〈めざす方向性〉

資金の効率的投資や共創型開発などを通じた資産効率性向上

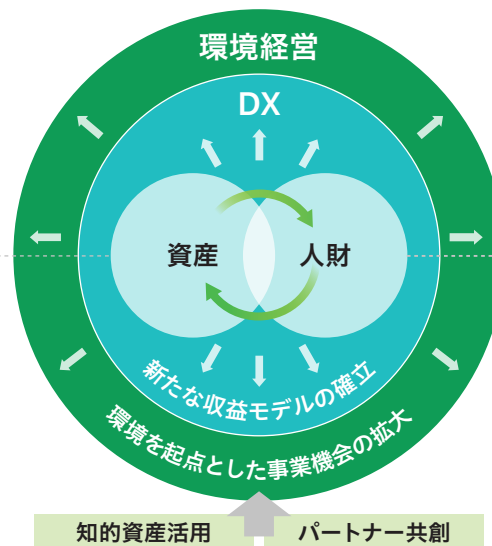
〈当社グループの強み〉

幅広いアセット活用

- 多様なアセットタイプの開発実績
- 業界トップクラスのAUM*

事業プロデュース力

- ユニークな施設づくり
- 地域に根ざしたプロジェクト推進



人財活用型ビジネス

管理運営事業／不動産流通事業

〈めざす方向性〉

労働集約型からの脱却と知的資産の有効活用による生産性向上

〈当社グループの強み〉

豊富なお客さま接点

- 幅広いBtoC領域での事業展開
- リアル中心のコミュニケーション

人財と運営ノウハウ

- 管理業・仲介業における業界トップクラスのプレゼンス

経営基盤の強化

長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の達成に向けて「中期経営計画2025」では経営基盤の強化を着実に推進いたします。

方針

具体的な取り組み例

財務資本戦略

最適な財務資本構成のもと
効率性を意識した利益成長

財務規律の維持・効率性向上

- 株主資本コストを意識し、ROE 8%以上
- 期間利益積み上げによるD/Eレシオ改善

事業ポートフォリオマネジメント

- PDCAサイクルによる効率性向上

株主施策

- 長期保有優待制度の見直し・拡充

人財・組織風土

一体感のあるイノベティブな
組織風土の醸成

多様な人財が活躍できる組織づくり

- 女性活躍の推進[女性管理職比率向上]
- 男性育休の取得率向上
- LGBT理解深化

働きがい・働きやすさの向上

- 健康経営の推進
- 一体感醸成に向けた従業員持株会の拡大

ガバナンス

公正かつ透明性の高い
ガバナンス体制の構築

役員報酬制度の見直し

- 経営計画で定める重要指標との連動性向上

指名・報酬委員会の独立性強化

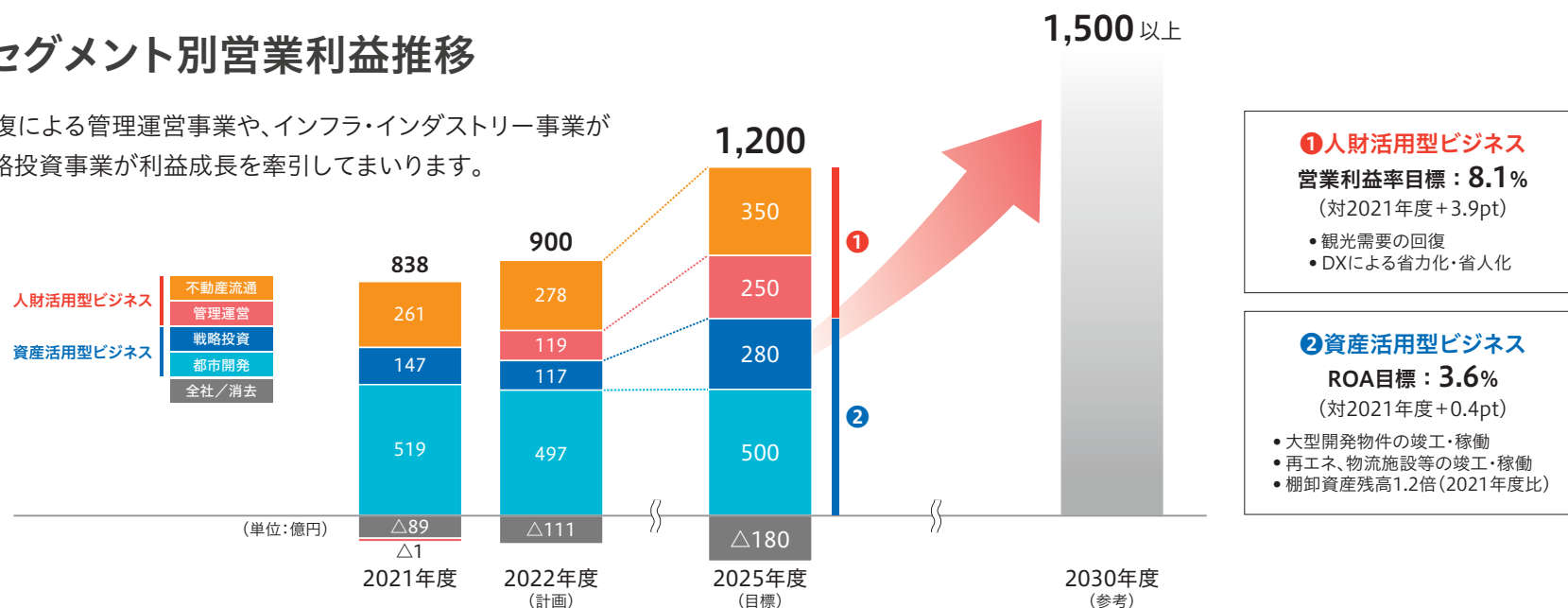
- 独立社外取締役が過半数に

ITセキュリティガバナンス

- グループ共通のITセキュリティポリシー策定

事業セグメント別営業利益推移

観光需要回復による管理運営事業や、インフラ・インダストリー事業が
拡大する戦略投資事業が利益成長を牽引してまいります。



「中期経営計画2025」で、全社方針に掲げる「環境経営」では、「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」の3つに重点的に取り組んでまいります。この特集では、当社グループの「環境経営」への取り組みをまとめた環境経営レポートの内容を一部抜粋してご紹介いたします。環境経営レポートについては右記QRコードよりご覧いただけます。

環境経営レポートの
詳細はこちらから



中期経営計画：環境経営による価値創造

脱炭素社会・循環型社会・生物多様性への取り組みを通じて、環境を起点とした事業機会の拡大をめざします。

長期経営方針

すべての事業を通じた環境負荷低減

環境に寄与する快適な街と暮らしの創造

2025年カーボンマイナス
自社のCO₂排出量 < 再エネ創出等による削減貢献量

2030年SBT※1 1.5℃
目標の実現
CO₂削減46.2%

2050年ネットゼロ
エミッション
CO₂排出ネットゼロ



当社グループの強み

地権者や地域に寄り添う
開発・事業構築

ユーザーの感性に訴える
環境価値提案

中期経営計画 環境を起点とした事業機会の拡大

① 脱炭素社会

- RE100※2達成、社内炭素税(ICP)導入
- ZEB/ZEH※3導入、環境認証取得
- 再エネ・省エネ・創エネ

② 循環型社会

- 廃棄物や水使用量の削減
- ストック活用
- 地域・環境との共生型事業

③ 生物多様性

- 都市緑化と長期維持管理
- 森林保全・利活用
- サステナブル調達

取り組み方針：幅広い事業領域の各場面で環境ソリューションを提供し、ステークホルダーとともに環境価値創出を図る

開発

管理・運営

改修・流通



東急不動産



東急コミュニティー



東急住宅リース



多様なステークホルダー

TOPICS

緑をつなぐ プロジェクト

当社では、生物多様性の取り組みの一環として緑をつなぐプロジェクトに取り組んでおります。お客さまのマンション購入やオフィス・リゾートなど、当社施設の利用に応じて、森林保全に貢献する取り組みです。株主優待でもご利用いただけます。

● 9ページに掲載しておりますカタログギフトよりお選びいただけます。

※1 SBT…Science Based Targetsの略。5-15年先を見据えた企業の温室効果ガス削減目標

※2 RE100…Renewable Energy 100%の略。事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする、世界の企業が参加する国際的な協働イニシアティブ

※3 ZEB/ZEH…net Zero Energy Building/net Zero Energy Houseの略。年間の一次エネルギー消費量が、ネットゼロまたはマイナスとなる建築物

TOPICS 1

東急不動産(株)は、再生可能エネルギー利用 比率100%へ※1

再エネ事業者の強みを活かし、再エネの活用を加速

東急不動産(株)は2019年、不動産業で初となるRE100に加盟し、国内トップレベルの発電能力を活用しながら保有施設の再エネ化を推進してきました。このたび、達成目標をさらに2022年に前倒しすることで、国内の事業会社最速※2でのRE100達成をめざします。

※1 暫定保有物件や事業/パートナーとの合意が困難な物件等一部除外

※2 RE100 2021 Annual Disclosure reportの巻末リストによる

RE100

CO₂削減量:
約13.8万t/年

※一般家庭約6.8万軒分



リエネ行方太陽光発電所

TOPICS 3

「JAMBEE※ 第10回カーボンニュートラル賞」にて大賞を受賞

カーボンニュートラル時代が求める施設で人をつくる

(株)東急コミュニティーの自社研修施設である「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA(以下NOTIA)」が、「JAMBEE 第10回カーボンニュートラル賞」において大賞を受賞しました。NOTIAは、都内事務所ビルとして初のNearly ZEB認証を取得するなど、環境先進技術を導入しております。さらに、これからの時代に必要となる様々な技術を学ぶ場として次世代研修施設の在り方を追求し、高い技術力を身に付けることのできる施設となることをめざしており、これらの取り組み等が評価され、今回の受賞にいたしました。今後とも脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※一般社団法人建築設備技術者協会

TOPICS 2

「地域循環共生圏※1」に関する包括連携協定を締結

次世代へ魅力ある自然環境や景観を残し、つなげていくことをめざす

東急不動産(株)、東急リゾート&ステイ(株)、長野県茅野市と(一社)諏訪広域脱炭素イノベーション協会は「地域循環共生圏」に関する包括連携協定を締結しました。東急リゾート&ステイ(株)が茅野市の支援を受けながら立ち上げ、東急リゾートタウン蓼科内において推進してきた「もりぐらし※2」の取り組み等、4者がこれまで培ってきたノウハウやこの地域に根差した事業活動の基盤を活かし、相互の連携及び協力を強化することで、「地域循環共生圏」の創造を通じたカーボンニュートラルなまちづくりをめざします。



※1 「地域循環共生圏」とは…各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることをめざす考え方

※2 東急リゾート&ステイ(株)の推進する「もりぐらし」の取り組みについては右記をご参照ください

もりぐらしについてはこちら
<https://morigurashi.com/>



東急コミュニティー技術研修センターNOTIA

本ページでは、環境経営とともに全社方針に掲げているDXに関する取り組みをお伝えします。

当社では、「中期経営計画2025」の公表にあわせ、より具体的な当社グループならではのDXによる価値創造プロセスをお伝えするべく、DXレポートを公表いたしました。

内容は経済産業省が取りまとめた「デジタルガバナンス・コード」にも準拠するもので当社グループの経営にあたっての意思を示すものであります。ぜひ一読ください。

DXレポートの
詳細はこちらから



東急不動産ホールディングスグループのDXビジョン

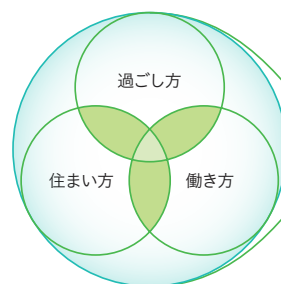
“Digital Fusion”をコンセプトに、DXによって社会に存在するあらゆる境界を取り除き、ありたい姿の実現をめざす。

Digital Fusion

デジタルの力で、あらゆる境界を取り除く

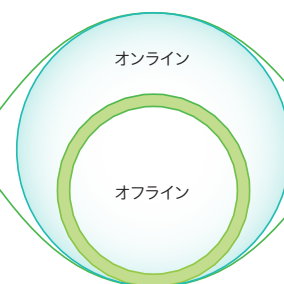
2030年にありたい姿を実現するためにグループ全体でDXを推進し、希望に満ちた世界と豊かな環境を、未来の世代につないでいく

あらゆる生活シーンの融合



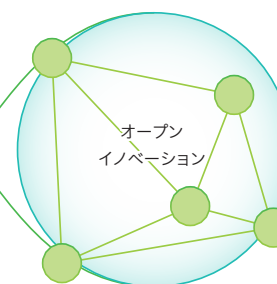
ライフスタイル創造3.0

オンラインとオフラインの融合



OMO※1

事業・組織の枠を超えた融合



グループ連携／パートナー共創

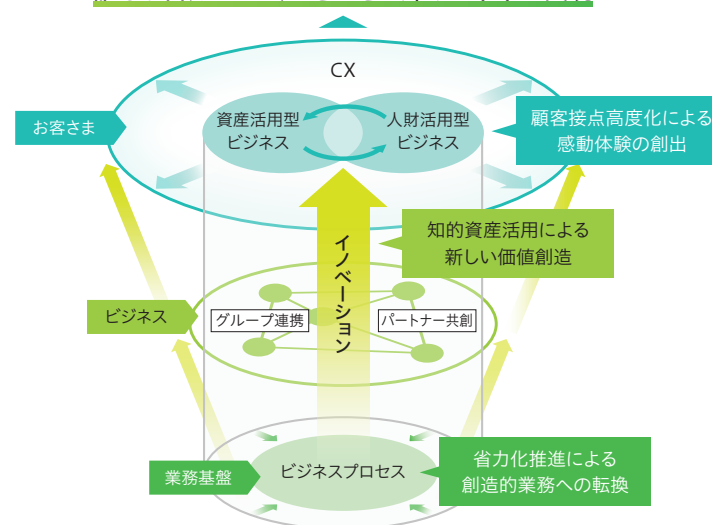
DXによる価値創造の全体像

DXの3つの取り組み方針は、相互に結びつきながら、私たちがめざす価値創造を実現します。

ビジネスプロセス、CX、イノベーションで新しい価値を生み出す

私たちがめざす価値創造のあり方は、3つのレイヤーで構成されます。ベースとなる業務基盤の層では、BPR※2推進やデジタルツール導入、システム連携、情報基盤構築により業務をスリム化・整流化し、創造的業務への転換を図ります。そのうえで、グループ連携やパートナー共創によってビジネスの機会を獲得し、新しい事業やサービスを開発。こうして生まれた多彩な事業やサービスを活かして、お客さまとの接点を最大化しながら、新しい感動体験の創出をめざします。さらに、この一連の流れのなかで、私たちは各所で蓄積される知的資産価値を活用し、収益源の多様化につながるイノベーションを起こしていきます。

私たちがめざす価値創造
誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来の実現



※1 OMO…Online Merges with Offlineの略。これまでそれぞれ別の空間であったオンラインとオフラインが融合している状態

※2 BPR…Business Process Re-engineeringの略。企業競争力向上を目的に、企業活動に関する目標を設定し、それを達成するために業務内容や流れ、組織構造を分析して最適化することで、業務プロセスを抜本的に再構築すること

TOPICS 1 DX機能会社「TFHD digital(株)」を設立

革新的なデジタルビジネスモデルの構築をめざす

当社は、DXによる価値創造を加速するため、DX機能会社「TFHD digital(株)」を設立しました。当社グループでは全社方針にDXを掲げ、豊富なお客さま接点とノウハウ・データを活用したビジネスモデル変革に取り組んでいます。「TFHD digital(株)」では、DX推進に必要な専門人財の積極的な獲得を図っていきます。社員一人ひとりの専門性や多様性を尊重しあい、グループ各社や外部パートナーとの共創を推進しやすい体制を整備するとともに、社員が存分に能力を発揮し活躍・成長できる環境の構築をめざします。



TFHD digital(株) ウェブサイト
<https://www.tfhd-digital.co.jp>



TOPICS 2

売買仲介実務で利用可能な「マンション価格査定AI」を開発

東急リバブル(株)の知見と(株)RistのAI技術をもとに、高精度な査定価格の算出を実現

東急リバブル(株)と(株)Ristは、高精度な「マンション価格査定AI」を開発し、2022年5月より全国の売買仲介店舗で一斉に利用を開始しました。本システムの導入によって、査定業務の高度な標準化を実現し、お客さまへ信頼性の高い査定結果をお届けすることが可能となりました。またAIが査定業務をサポートすることによって、査定に係る業務時間の内、約30,000時間を削減し、不動産売却を検討されるお客さまへのコンサルティング業務に、より一層注力いたします。

3つのAIの役割

① 類似度を評価

近隣取引事例から類似性の高いものを選択



人の行為(査定業務)を再現

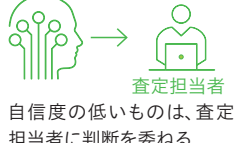
② 重みづけ

選択した事例をもとに重みづけを行って査定価格を算出



③ 前工程を評価

AI自身が査定結果に対する自信度を算出



自信度の低いものは、査定担当者に判断を委ねる

判断をサポート

TOPICS 3

東急リバブル(株)とGMOグローバルサイン・HD(株)が不動産売買契約におけるデジタル化を実現

マイナンバーカード認証による“安全・安心”な電子署名サービスを提供

東急リバブル(株)とGMOグローバルサイン・HD(株)が、2021年12月に業務提携し、検討を進めておりましたマイナンバーカード認証による実印相当の効力をもつ、不動産売買契約の電子署名実用化を2022年5月の宅地建物取引業法改正に合わせて開始しました。電子署名を用いた電子契約によって、印紙代も不要となるペーパーレス(印刷、持ち運び、保管等も不要)が実現し、売主さま・買主さまの負担が軽減され、利便性も高まります。不動産売買取引に、マイナンバーカード認証を用いた“安全・安心”とペーパーレス、オンライン取引も可能とする“利便性”の両立を図ってまいります。

▶ 電子署名実用化による不動産売買契約の取引イメージ



株主優待制度について

当社では、株主の皆さまに感謝の意を表するとともに、より多くの方に当社グループ事業への一層のご理解を賜ることを目的として2つの株主優待制度を導入しております。

1. 継続保有株主優遇制度

〔継続保有株主優遇制度とは〕

500株以上、3年以上継続保有の株主さまに対象期間の保有株式数に応じてオリジナルカタログギフトを年1回(6月末)贈呈する制度です。**当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該3月末日割当日を含む直近7回の割当日(3月末日、9月末日)に保有されていた最小株式数に応じて、カタログギフトを贈呈します。**カタログギフトは、リゾートホテル・ゴルフ場・スキー場でのお支払いにご利用可能な施設利用券、フィットネスクラブのご利用券や食品、雑貨、寄付等からお好きな一品をお選びいただけます。

6月末(株主総会終了後)に期末配当通知と一緒に送ります。



お申込み期限
2022年
10月末日

当社株式を継続してお持ちいただくと、このようなメリットがあります。末永くご愛顧ください。

保有株式数	500株以上 1,000株未満	1,000株以上 5,000株未満	5,000株以上
贈呈品	カタログギフト (2,000円相当)	カタログギフト (5,000円相当)	カタログギフト (10,000円相当)

■一例 2021年度カタログギフト実施内容

※2021年度カタログギフトの商品申込は2021年10月末日に終了しております。

カタログギフト
(2,000円相当)より

はちみつで作った
果肉いっぱいの
ジャム3本セット
たいめいけん
IH対応オムフライパン
20cm



カタログギフト
(5,000円相当)より

米沢牛
ビーフシチュー
4袋入り
ティファール グレーオーク・
インテンス フライパン
26cm



ツインバード
サイクロン
スティック型
掃除機



カタログギフト
(10,000円相当)より

「宮城県」
ご飯に合う
贅沢三味
セット



カタログは商品が届く
まで大切に保管してく
ださい。

2. 株主様ご優待券



〔株主様ご優待券とは〕

当社グループが運営しているリゾートホテル・ゴルフ場・スキー場・フィットネスクラブ等をご優待料金にてご利用いただけるご優待券です。

年2回(6月末、12月上旬)発行しております。

ご利用いただける期間中は、お手元に保管いただき、ぜひご利用ください。

ご優待券とご案内を一冊にまとめています。
ご優待券はミシン目に沿って切り離してご利用ください。▶



株主優待制度の一部変更(廃止)に関するお知らせ

当社は、2022年3月31日付で、(株)カインズに、当社の連結子会社であった(株)東急ハンズの発行済株式の全部等を譲渡いたしました。2022年2月にリリースしております通り本件譲渡に伴い、下記の通り株主優待制度を一部変更(廃止)しております。

変更(廃止)の内容及び時期

【株主様ご優待券】

2022年6月発行分の株主優待より、東急ハンズお買い物優待カードを廃止いたします。

株主様ご優待券(2022年6月発行分)変更及び廃止箇所

内容	保有株式数	変更前	変更後
東急ハンズ お買い物 優待カード	100株以上500株未満	なし	なし
	500株以上1,000株未満	1枚(5%割引)	廃止
	1,000株以上5,000株未満	1枚(5%割引)	廃止
	5,000株以上	1枚(10%割引)	廃止

なお、2021年6月に発行しております東急ハンズお買い物優待カードは、本件譲渡の実行後も有効期間終了(2022年7月末)まで引き続きご利用いただけます。

株主さまアンケート企画のご案内

応募締切

WEB：7月18日(月)23:59
はがき：7月18日(月)当日消印有効

当選発表

7月下旬(予定)に当選者にのみメール連絡

当社では9ページに記載の通り、2つの株主優待制度を導入しております。これまで以上にご満足いただけるような株主優待制度となるよう株主の皆さまのご要望をお聞きし、今後の株主優待の方向性の参考とさせていただきます。アンケートにご回答いただいた方には、**抽選で109名の方に3,000円相当のQUOカードPay[®]**をプレゼントいたします。

アンケート応募方法 WEBサイト または はがきのいずれかをご利用ください。



WEBサイトの場合

下記のURLまたはQRコードからアクセスしてください。

メールの場合は、
へ空メールを送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLへアクセスしてください。



「アクセスコード」を入力

アクセスコード:3289

個人情報に同意後、
アンケート回答



はがきの場合 株主さまご自身で郵便はがきをご用意いただき下記項目を記入のうえ、ご応募ください。

当社では、「環境経営」と「DX」を推進しており、その一環として株主優待制度においても、WEBの活用による満足度・利便性の向上、並びにペーパーレス化による環境負荷低減について検討を開始いたしました。

例① 継続保有株主優待制度のカatalogを電子化(WEBカタログ)し、より豊富な品揃えや旬な産直品のご提供を実現
(WEBサイトのご利用が難しい株主さまのため、当面、ご希望の方には一部商品を抜粋した紙での対応をご用意することも想定)

例② 株主様ご優待券(施設割引利用券)の電子化によりチケットの紛失等のご不便を解消
つきましては、今後の株主優待の方向性の参考とさせていただきます。アンケートを実施させていただきます。ご協力をお願いいたします。

1 氏名 2 年齢

3 株主番号(同封の配当金計算書の右上に記載されております)

4 メールアドレス

5 当社の株式を購入した理由をお選びください。(複数回答可)

ア.経営戦略 イ.将来性 ウ.財務基盤 エ.株価上昇期待
オ.配当金 カ.株主優待 キ.当社グループへ親しみを感じているため
ク.当社グループの住宅・商品・サービスを利用しているため
ケ.その他(自由記述)

6 今後当社株式を買い増したり、長く保有していただく理由となり得るものをお選びください。(複数回答可)

ア.優待拡充 イ.株価動向 ウ.増配 エ.自社株買い
オ.会社の成長 カ.ESGへの取り組み キ.その他(自由記述)

7 継続保有株主優待制度でWEBカタログを導入した場合、どちらを利用されますか?

ア.WEBカタログ
イ.一部商品を抜粋した紙カタログ

8 今後継続保有株主優待制度で拡充してほしい商品ジャンルをお選びください。(複数回答可)

ア.食品・飲料 イ.雑貨・日用品・工芸品 ウ.健康関連商品 エ.寄付
オ.環境配慮商品 カ.当社グループ施設利用券 キ.その他(自由記述)

9 当社の株主様ご優待券はどのくらい利用されていますか?

ア.よく使う イ.時々使う ウ.あまり使わない エ.使ったことがない

10 株主様ご優待券はどなたがご利用されることが多いですか?(複数回答可)

ア.株主様ご本人 イ.家族 ウ.知人 エ.利用したことがない

11 電子チケット(鉄道・航空機のeチケット等)やスマートフォン決済(QRコード決済等)をどの程度利用されていますか?

ア.よく使う イ.時々使う ウ.あまり使わない エ.使ったことがない

12 株主様ご優待券をスマートフォンで利用できるようになった場合は便利だと思いますか?

ア.便利 イ.どちらかといえば便利 ウ.どちらかといえば不便
エ.不便 オ.スマートフォンを持っていない

QUOカードPayをご利用いただく際の注意点

- QUOカードPayは、ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りいたします。下記のメールアドレスからメール受信できるように設定をお願いいたします。delivery@pay-email.quocard.jp
- ご登録いただくメールアドレスに不備があると、当選のお知らせをお届けすることができず、抽選の対象外となってしまいますので、メールアドレスのご登録にはご注意ください。
- QUOカードPayの詳しい使い方は下記URLをご参照ください。
<https://www.quocard.com/pay/use/>



※QUOカードPayはスマートフォンからのみご使用いただけます。

【個人情報の取扱について】本アンケートに際し、ご提供いただいた株主さまの情報は、本アンケートの委託先に提供する場合がありますが、個人情報の保護に適用される法令及びその他の規範を遵守し、本アンケートの実施・集計・分析等とそのアフターフォロー以外には利用いたしません。またアンケート結果については、HP等で結果を公表する場合があります。

会社概要／株式の状況 (2022年3月31日現在)

会社概要

商 号	東急不動産ホールディングス株式会社 Tokyu Fudosan Holdings Corporation
設 立	2013年10月1日
資 本 金	77,562,030,000円
従 業 員 数	連結21,276名
ホームページアドレス	https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/
所 在 地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1

役員

(2022年6月28日現在)

取締役会長	金 指 潔
代表取締役社長 社長執行役員	西 川 弘典
代表取締役 副社長執行役員	植 村 仁
取締役 執行役員	岡 田 正志
取締役 執行役員	木 村 昌平
取締役 執行役員	太 田 陽一
取締役 執行役員	星 野 浩明
取締役	野 本 弘文
取締役	貝阿彌 誠 ^{※1}
取締役	新 井 佐恵子 ^{※1}
取締役	三 浦 惺 ^{※1}
取締役	星 野 次彦 ^{※1}
取締役	定 塚 由美子 ^{※1}
執行役員	三 木 克志
執行役員	吉 浦 勝博
執行役員	池 内 敬
執行役員	田 中 辰明
執行役員	榎 戸 明子
執行役員	亀 島 成幸
執行役員	小 玉 潤
執行役員	宇 杉 真一郎
執行役員	橋 本 茂
常勤監査役	持 田 一夫
常勤監査役	橋 詰 雅彦
監査役	武 智 克典 ^{※2}
監査役	仲 澤 孝宏 ^{※2}

※1印は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

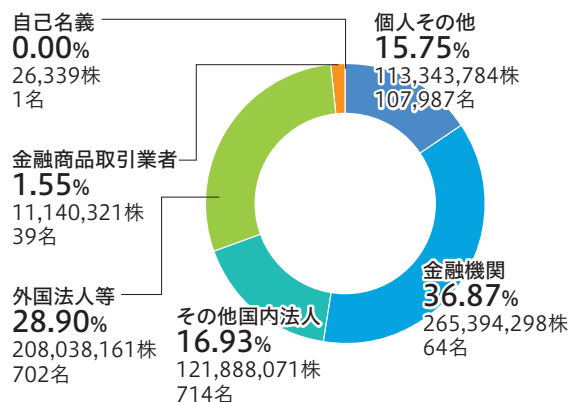
発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数	719,830,974株
株主総数	109,507名
単元株式数	100株

大株主の状況

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	120,184	16.70
東急(株)	114,479	15.90
(株)日本カストディ銀行(信託口)	53,911	7.49
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	16,366	2.27
三井住友信託銀行(株)	16,008	2.22
第一生命保険(株)	11,934	1.66
HSBC BANK PLC A/C HSBC BANK PLC AS TRUSTEE FOR PUTM ACS JAPAN EQUITY FUND	10,265	1.43
日本生命保険(相)	8,107	1.13
(株)日本カストディ銀行(信託口4)	7,967	1.11
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	7,935	1.10

(注) 持株比率は、自己株式26,339株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公 告 方 法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネット) (ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
 株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

特別口座について
 株券電子化前に「ほふり」((株)証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行(株)に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 この冊子は、地球環境に配慮し、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。